

2018年2月8日

《問い合わせ先》

■三重県文化会館

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田 1234

公益財団法人三重県文化振興事業団 担当：堤 佳奈

Tel：059-233-1100

E-mail：tsutsumi@center-mie.or.jp

OiBokkeShi

「老いと演劇」オイ・ボッケ・シ

× 三重県文化会館

「介護を楽しむ」「明るく老いる」アートプロジェクト

老いのプレーパーク 仲間募集

三重県文化会館では、2017年度より、認知症の介護現場に演技の手法を取り入れた取り組みで近年注目を集める俳優・介護福祉士の菅原直樹さんをお招きし、3年間のアートプロジェクトを行っています。2017年度前期は、「介護を楽しむ」という視点から、県内各地で菅原さんによる「介護に寄り添う演技」体験講座を実施。後期は、もう一つの「明るく老いる」という視点から、シニアを中心に様々な世代の県民を対象とした菅原さんのワークショップを3回シリーズで開催いたしました。2018年度は、前年度の振り返りと、これらの活動をさらに発展させ、生きがいとなるような継続的な活動を行う母体集団を立ち上げます。

【老いのプレーパークとは】

よりよく生きるヒントは、「遊び」の中にある。

若者からシニアまで幅広い年齢層で集まり、毎回様々な「遊び」にチャレンジすることで、新たなつながりを創出します。2018年12月には発表イベントを開催。演劇作品上演のほか、メンバーの特技・趣味を生かした展示や出し物を企画します。

【講師プロフィール】

菅原直樹（すがわらなおき）

「老いと演劇」OiBokkeShi 主宰。俳優、介護福祉士。平田オリザが主宰する青年団に俳優として所属。2012年より、家族と共に岡山に移住。介護と演劇の相性の良さを実感し、地域における介護と演劇のあり方を模索している。OiBokkeShiの活動に密着したドキュメンタリー番組「よみちにひはくれない～若き“俳優介護士”の挑戦～」(岡山

放送 OHK) が第 24 回 FNS ドキュメンタリー大賞で優秀賞を受賞。2017 年には、その活動が NHK「こころの時代」にも取り上げられる。

【活動内容】

■活動スケジュール

6 月から定期的に月 1~2 回集まり、メンバー同士の交流を深めます。

11 月・12 月は発表準備や稽古のため、月に 5~6 回集まって活動します。

12 月 22 日 (土曜日)・23 日 (日曜日) 発表イベント本番 (演劇公演+展示や出し物)

於：三重県文化会館 小ホール

※集まる日程はメンバーの予定にあわせ調整して決定します。

場所は基本的に三重県総合文化センター内を予定しています。

■対象

年齢・国籍・演劇経験不問。若者からシニアまで大歓迎！ものづくりや料理、絵を書くのが得意、人と接するのが好き、などご自身の特技や趣味を生かしたい方を募集しています。

【申込について】

■申込方法

チラシ裏面の申込用紙にご記入のうえ、以下のいずれかの方法でお申し込みください。

(申込用紙は三重県文化会館 web サイトからもダウンロードできます。)

《郵送》 〒514-0061 三重県津市一身田上津部田 1234
三重県文化会館「老いのプレーパーク」係

《Fax》 059-233-1106

《窓口》 三重県文化会館チケットカウンター

《E-mail》 kenbun@center-mie.or.jp
※件名を「老いのプレーパーク」とし、お送りください。

■ 申込締切

3月31日（土曜日）必着

※応募者多数の場合選考あり。詳細は締切後ご連絡します。

※詳しくは、添付チラシおよび下記特設サイトをご覧ください。

特設サイトでは、これまでの「介護を楽しむ」「明るく老いる」アートプロジェクトの活動記録も掲載しております。

<https://www.center-mie.or.jp/oibokenbun/>

添付書類：老いのプレーパーク仲間募集 チラシ 1部